

令和8年度 学校経営方針

三田市立すずかけ台小学校

1 学校教育目標

『夢に向かって共に歩む すずかけっ子の育成』

2 めざす子ども像

(「夢をもち、自分も友だちも、学校もふるさと大切にする子」…けやき台中学校区9年間を見据えた「めざす子ども像」)

『笑顔はじける すずかけっ子』

- 【自律】自分で考え、決めて、最後までやり抜く子
- 【尊重】違いを認め、他者を大切にする子
- 【創造】仲間と知恵を出し合い、新しい価値を創る子

3 めざす学校像

『子どもが安心して学び、ウェルビーイングを実現できる学校』

- 安心して「自律」できる学校 : 子どもが失敗を恐れず、挑戦できる安心安全な環境を整える。
- 互いに「尊重」し合える学校 : 子ども、保護者、地域、教職員が互いを信頼し、つながる。
- 共に「創造」する学校 : 子どもの決定を支え、より良い未来を切り拓く学びを創る。

4 取組の重点

(1)確かな学力の育成

- ・カリキュラムマネジメントの実現(教育目標を実現するため、教科等横断的な視点で教育内容を組織的に配置)
- ・探究的な学習の充実(兵庫型STEAM教育の推進。総合的な学習の時間を中心に探究学習の積み上げ)
- ・授業改善の促進(40分授業に伴う授業改善。個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実。ICTの活用)
- ・国際理解教育の推進(国際交流活動の充実。多様な文化を持つ人々と共生する態度の育成)
- ・読書活動の充実(デジタル・アナログ・ハイブリッド型の推進。図書室環境の充実。委員会や家庭・地域との協力体制の構築)

(2)豊かな心の育成

- ・体験活動の推進(人や社会と関わる力の育成。豊かな情操の育成。環境体験教育と自然学校等の内容を充実)
- ・道徳教育の推進(思いやりに満ちた人間関係の構築。対話的な学びを重視した授業の充実)
- ・人権教育の推進(計画的・組織的な取組。人権意識の高揚等に向けた研修)
- ・いじめ等への対応(生徒指導体制の構築。自己有用感の向上。校内教育相談体制の整備)
- ・不登校への対応(魅力ある授業・学級・学校づくりの推進。多様な居場所の確保。関係機関と連携した学びの機会提供)

(3)健やかな体の育成

- ・体力・運動能力の向上(主体的に体力向上を図る態度の育成及び継続的な取組。オリジナル体操の開発。)
- ・体育等の安全・熱中症対策(発達段階等を踏まえ段階的な指導。適切な観察や休憩の実施。熱中症警戒アラートの活用)
- ・食育の推進(栄養教諭と連携した食育を計画的・継続的に進める)
- ・食物アレルギーへの対応(発達段階に応じて自己管理能力を育成。校内救急体制の確立)

(4)特別支援教育の推進

- ・適切な教育課程の編成(障がいの程度や状態等に応じた「特別的教育課程」を適切に編成。適切な指導及び必要な支援)
- ・通常の学級の特別支援教育の充実(全ての教職員及び児童に対し、障がいの特性等に関する理解を深める取組の推進)
- ・通級指導の充実(通級指導による指導の効果が、通常学級で波及するように、各教科等と通級による指導の関連を図る)
- ・関係機関との連携による切れ目ない支援体制の充実(特別支援学校・保健・福祉・医療機関等との連携)

(5)地域とともにある学校づくりの推進

- ・地域住民の参画の推進(学校運営協議会の充実。地域全体で子どもたちの成長を支えていく活動を一層推進)
- ・外部人材を活用した学力向上の取組の充実(保護者や地域の人々等外部人材との連携・協力を進める)
- ・子どもの居場所づくりの充実(地域の教育資源との連携を推進し、すべての子どもに安全・安心な居場所の確保を図る)
- ・地域防災学習の拡充(PTA及び自治会等と連携した地域防災教室を実施)

5 めざす教師像

『子どものウェルビーイングを実現する チームすずかけ』

教職員のウェルビーイングの実現(心身ともに健康で、活力とやりがいを持って職務に邁進する)

基本姿勢の確立(高い倫理観と豊かな人間性を備え、服務規律と情報管理を徹底する)

専門性の向上(分かりやすく面白い授業を展開し、個に応じたきめ細かな指導を行う。研修の充実)

子どもを信じ、任せ、委ねる関わり(子どもの可能性を信じ抜く。子どもに愛情をもって接する)

組織対応(「チームすずかけ」として情報を共有し、多角的な視点から組織的な指導を行う)